

平成 24 年度春季 先端オープン講座開講 —— 御案内と受講者募集 ——

本講座は、平成 24 年度から年 1 回の開講となり、平成 24 年度は、この春季講座開講のみとなりますので、御注意をお願い致します。

本講座は、電子情報通信分野における若手技術者から中堅技術者まで、また基礎的事項の理解から専門的事項、最新動向の理解・習得まで、幅広いニーズに応える講座として、既に 6,000 人を越える受講者実績となっています。

また、継続的な教育・能力開発 CPD (Continuing Professional Development) の実行が技術者に強く求められる時代となってきました。本講座は、まさにこのような時代の要請を先取りするものとなっています。現在本会の CPD トライアルが開始されたこともあり、Aa, Cs, Cp, D, F コースは 15 ポイント、A 回コースは 30 ポイントの CPD ポイント獲得となりますので、この機会に是非、CPD 会員に登録され、積極的に活用して下さい。詳細はこちら <http://www.ieice.org/jpn/cpd/cpdtry.html>

本講座のねらいと特徴

- ・技術者・研究者個人のスキルアップ及び企業における職域転換に伴う再教育
- ・基礎から専門分野まで幅広く対応
- ・基礎分野における基本的概念の理解と技術の体系的習得
- ・専門分野における関連技術の最新動向の習得
- ・学会活動の一環としての低廉な受講料と各分野第一級の講師陣による直接指導
- ・技術者の継続的な教育・能力開発として位置付けられる CPD との連携

詳細はこちら <http://www.ieice.org/jpn/cpd/cpdtry.html>

I 講座実施内容

◇以下の 6 コースから御選択できます。Aa コースは A コースの一部 (6 講義) を受講するコースです。開催日は全て土曜日です

- A. 情報通信ネットワーク技術 (5 回で 10 講義分 6 月 16 日～)
- Aa. NGN とインターネット及び IP ネットワーク技術 (A コース後半 3 回で 6 講義分 6 月 30 日～)
- Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発 (2 回で 5 講義分 6 月 16 日, 23 日)
- Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント (2 回で 5 講義分 6 月 30 日, 7 月 7 日)
- D. 情報通信プロトコル技術 (2 回で 5 講義分 7 月 7 日, 14 日)
- F. 情報通信セキュリティ技術 (5 回で 5 講義分 6 月 16 日～)

専門分野別推薦コース表 (H24 春季)

コース名	主要受講対象 (コース選択の参考)				
	教育/企画/コンサル	営業/SE	ハード設計	ソフト開発	サービス/保守
A. 情報通信ネットワーク技術	◎	◎	◎	◎	◎
Aa. インターネット、モバイル、NGN における情報通信技術	◎	◎	◎	◎	◎
Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発	○	○	○	◎	◎
Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント	○	○	○	◎	◎
D. 情報通信プロトコル技術	○	○	◎	◎	◎
F. 情報通信セキュリティ技術	◎	◎	○	◎	◎

注) ◎印：特にお勧め、○印：お勧め

- 所定のカリキュラムを受講された方には、学会から修了証書を授与します。
- 受講形態として「個人受講」と「団体受講」があります。団体受講の場合は、何人かのメンバーが分担して受講も可能です。なお、団体受講の場合には、修了証書は発行されません。
- 受講申込で取得した個人情報につきましては、本会教育関連の DM 発送、受講者の動向及び傾向の調査に利用致します。
- 各コース共、受講者が定員に満たない場合は、講座を中止することがあります。
- 講師都合、災害等のやむを得ない理由で、日時を変更または休講することがあります。休講する場合は、講座を受講したものと取り扱わせて頂き、後日の開講は致しませんので御了承下さい。

II 実施期日と申込み方法

カリキュラムの詳細は先端オープン講座ホームページ (<http://www.ieice.org/jpn/event/education.html>) から御覧の上、申込みできます。以下にカリキュラム概要を示します。また C コース専用ホームページ (<http://www.sentanopen.net/>)

期 日 平成 24 年 6 月 16 日・23 日・30 日, 7 月 7 日・14 日各土曜日, A コースは 6 月 16 日～5 回, Aa コースは 6 月 30 日～3 回, Cs コースは 6 月 16 日, 23 日, Cp コースは 6 月 30 日, 7 月 7 日, D コースは 7 月 7 日, 14 日, F コースは 6 月 16 日～5 回

時 間 午後 9 時～16 時 (17 時) (ただし、F コースは 13 時～16 時)

会 場 機械振興会館 (港区芝公園 3-5-8) 交通 地下鉄日比谷線神谷町駅下車 徒歩 10 分

定 員 各コース共 50 名 (早めにお申込み下さい。申込先着順により、満員になり次第締切ります)

締 切 日 定員に余裕がある場合は、6 月 4 日 (月) まで受付

申込方法 下記の受講申込書に必要事項を記入の上、お申込み下さい。(なお、WWW ホームページからも申込みできます)

申込先 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 一般社団法人電子情報通信学会 会員サービス部

先端オープン講座担当 TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659

受講券と受講料 申込先着順に受講券をお送りします。受講券がお手元に届き次第、下記の受講料をお払込み下さい。

個人受講	区 分	A コース		Aa, Cs, Cp, D, F コース		●講義テキスト代金、消費税を含む ●学生員及び高等学校教員は、受講料割引の特典があります。お問い合わせ下さい。
		初受講	2 回目以降	初受講	2 回目以降	
会 員	維持員に所属する非会員	50,000 円	40,000 円	30,000 円	25,000 円	
	非 会 員	70,000 円	60,000 円	40,000 円	35,000 円	
団 体 受 講	会 員	70,000 円	60,000 円	40,000 円	35,000 円	
	非 会 員	70,000 円	60,000 円	40,000 円	35,000 円	

(注) Aa, Cs, Cp, D コースを前半・後半 2 コースの組合せ受講の場合、A コースの受講料となりますので両方に印をお付け下さい。

- ・本会会員は会員優待制度 (受講料割引の特典) で受講できます。
- ・本講座受講が初めての場合は、「初受講」料金、これまでに本講座の受講経験のある場合は、「2 回目以降」料金になります。
- ・非会員の個人受講の方で、本会に入会を希望される方は、受講料を会員扱いとします。(詳細は連絡先にお問合せ下さい)
- ・映像情報メディア学会・応用物理学会・照明学会・情報処理学会・電気学会・土木学会等の個人会員の方の受講料は本会会員扱いとします。情報処理推進機構 (IPA) 利用登録団体及び、情報通信ネットワーク産業協会 (CIAJ)、(社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) の企業会員に属する方の個人受講の受講料は、維持員に所属する非会員の扱いとします。

## 先端オープン講座 受講申込書

(講義のポイントを絞るための参考としますので、差し支えない範囲でできるだけ記入して下さい。)

1	ふりがな 受講者(代表者)氏名	2	年齢 歳
3	受講券の送り先(○印記入 自宅・勤務先) 〒 受講者(代表者)の勤務先名 TEL		
4	個人・団体受講, 希望 コース(○印で囲む)	個人受講 A: 通信ネット	Aa: インターネット
	団体受講	Cs: ソフト	Cp: PM
		D: プロトコル	F: セキュリティ
4	講座受講回数	1. 初回 2. 2回目以上	
	会員・非会員の別 (○印で囲む)	1. 正員 2. 学生員 (所属学会: (会員番号: ) )	3. 維持員に所属する非 会員
		4. 非会員	5. 高校教員
5	本講座を何で知ったか (○で囲む, 複数可)	1. 本会誌 2. ポスター 3. 雑誌・新聞 4. 受講生からの紹介 5. 上司等からの紹介 6. WWW 7. その他 ( )	
6	参加の動機 (○で囲む, 複数可)	1. 上司等からの奨め 2. 業務上の必要性 3. 専門的技術の蓄積・向上 4. 一般的技術の蓄積・向上 5. 教養の醸成 6. その他 ( )	
7	これまでの主な業務名		
8	主な専門分野 (○で囲む, 複数可)	1. 教育/企画/コンサル 2. 営業 3. SE 4. ハード設計 5. ソフト開発 6. サービス/保守 7. その他 ( )	

(注) Aa, Cs, Cp, D コースを前半・後半2コースの組合せ受講の場合, A コースの受講料となりますので両方に印をお付け下さい。

..... 切 取 線 .....

### III 平成24年度春季講座のカリキュラム概要

カリキュラム詳細は, WWW ホームページで御覧になれます。(http://www.ieice.org/jpn/event/education.html)

C コース専用ホームページ (http://www.sentanopen.net/)

### 各コース

(敬称略)

- A. 情報通信ネットワーク技術 6月16日から開講
  - Aa. インターネット, モバイル, NGN における情報通信技術  
(A コース後半3回) 6月30日から開講
- 
- (6月16日 9:00~12:00) 情報ネットワークの概論 (通信網構成, トラヒック設計, 交換方式, QoS, ほか)  
上山 憲昭 (N T T)
- (6月16日 13:00~16:00) IP 通信技術 (IPv4, IPv6, IP パケット, インターネットセキュリティ, ほか)  
萱島 信 (日 立)
- (6月23日 9:00~12:00) 無線通信技術 (電波伝搬の基本特性, 変復調技術, ソフトウェア無線技術)  
関 智弘 (N T T)
- (6月23日 13:00~16:00) 光ファイバ通信技術 (光アクセス技術, 光伝送技術, DWDM 伝送システム)  
森田 逸郎 (K D D I 研)
- 
- (6月30日 9:00~12:00) インターネットの通信技術(1) (LAN/WAN 技術, TCP/IP, TCP の性能, ほか)  
山口 実靖 (工 学 院 大)
- (6月30日 13:00~16:00) インターネットの通信技術(2) (IP ルーティング, ルータ, トラヒック解析, ほか)  
宮川 晋 (NTT コミュニケーションズ)
- (7月7日 9:00~12:00) モバイル通信技術(1) (無線アクセス技術, 無線 LAN, Bluetooth)  
榎木勘四郎 (K D D I 研)
- (7月7日 13:00~16:00) モバイル通信技術(2) (IMT-2000, モバイルインターネット, 次世代方式)  
鈴木 俊博 (NTT ドコモ)
- (7月14日 9:00~12:00) 次世代ネットワーク (NGN) の通信技術 (SIP, IP 電話 IPTV, IMS, ほか)  
中村 秀文 (N T T)
- (7月14日 13:00~16:00) 特別講義「情報通信ネットワークにおける新次世代技術の動向」(ネットワーク仮想化, OpenFlow, SDN, Data/Contents Centric Network, ネットワークのエネルギー最適化制御)  
岡本 聡 (慶 大)

(敬称略)

## ●Cs. 実例で学ぶソフトウェア開発

(6月16日, 23日9:00~16:00)

講師: 駒谷 昇一 (NTT データ)

- (6月16日 9:00~12:00) ソフトウェア開発方法の概要 (ソフトウェア開発とプログラム作成の違い, ほか)
- (6月16日 13:00~16:00) 開発提案の作成方法 (システム受注の流れ, システム提案書/開発計画書の構成, ほか)
- (6月23日 9:00~12:00) プログラム設計の進め方 (外部設計工程の進め方, 例示する「外部設計書」のレビューを体験, ほか)
- (6月23日 13:00~16:00) プログラム試験の進め方 (単体テスト/結合テスト/総合テストの進め方, ほか) 運用保守の進め方

(敬称略)

## ●Cp. 実例で学ぶプロジェクトマネジメント

(6月30日, 7月7日9:00~17:00)

- (6月30日 9:00~12:00) プロジェクトマネジメントの概要 (システム開発工程とプロジェクトプロセス, QCD視点によるプロジェクトマネジメント, ほか) 大森久美子 (N T T)
- (6月30日 13:00~14:50) 要件定義の概要と動向~発注者と開発者で意識ずれのないシステム設計を行うために~ (要件定義の目的, 機能要件と非機能要件, 発注者と受注者の合意形成とは, ほか) 柏木 雅之 (IPA/SEC)
- (6月30日 15:00~17:00) 開発の見積り手法 (見積りとは, 見積り対象, 見積り精度の向上, COCOMO等具体的な見積り手法, ほか) 菊地奈穂美 (沖 電 気)
- (7月7日 9:00~12:00) ソフトウェアの品質管理 (PMOの活動範囲, 開発プロジェクトにおける品質管理, 運用・保守における品質管理, ほか) 草場 圭三 (日 立)
- (7月7日 13:00~16:00) プロジェクトのリスクマネジメント (リスクとは, PMBOKの概要, システム開発における実際のリスク, ほか) 香村 求 (システム SWAT)

(敬称略)

## ●D. 情報通信プロトコル技術

(7月7日, 14日9:00~16:00)

- (7月7日 9:00~12:00) TCP/IPプロトコル (OSI参照モデル, IP, TCP) 加藤 聡彦 (電 通 大)
- (7月7日 13:00~16:00) LANのプロトコル (イーサネット, VLAN, 無線LAN) 奥野 通貴 (日 立)
- (7月14日 9:00~12:00) アプリケーション層プロトコル (DNS, HTTP, メール) 石井 秀治 (N I C T)
- (7月14日 13:00~16:00) モバイルネットワークのプロトコル (モバイルBB, IMS) 松本 徹也 (NTTドコモ)

(敬称略)

## ●F. 情報通信セキュリティ技術

6月16日から開講

1. セキュリティ概論 (セキュリティの必要性, セキュリティとプライバシー, ほか) 稲村 雄 (オメガセキュリティ)
2. 無線ネットワークのセキュリティ技術 (携帯電話 (3G, LTE), 無線LAN, Mobile Wimax, ほか) 清本 晋作 (KDDI研)
3. インターネットのセキュリティ技術 (Radius, VPN (IPSec), SPF/SenderID, DNSsec, ほか) 佐藤 亮太 (N T T)
4. サイバーセキュリティ (ネットワークアタックの概要 (CVEなど), ファイアウォール, ほか) 寺田 真敏 (日 立)
5. アプリケーションセキュリティ (暗号メール, Webセキュリティ, セキュアOS, 著作権管理技術, ほか) 小川 一人 (NHK技研)